

芝生用殺菌剤

有効成分 物理化学的性状

商品名：ディスアームフロアブル
種類：フルオキサストロビン水和剤
有効成分：
フルオキサストロビン……………40.3%
物理化学的性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
その他成分の種類及び含有量：
水、界面活性剤等……………59.7%

安全性 (製剤)

人畜毒性：普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)
急性経口毒性 ラット LD₅₀ (♀) >5000mg/kg
急性経皮毒性 ラット LD₅₀ (♂♀) >5000mg/kg
眼刺激性 刺激性なし
皮膚刺激性 軽度の刺激性
皮膚感受性 感受性なし

魚毒性等

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。
散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、
空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

適用病害および使用方法

2020年7月22日現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	総使用回数*
西洋芝 (ベントグラス)	フェアリーリング病 葉腐病 (ブラウンパッチ) ピシウム病 赤焼病	1600倍	0.2L/m ²	発病初期	6回以内	散布	6回以内
西洋芝 (ライグラス) (ブルーグラス)	紅色雪腐病	4000倍	0.5L/m ²	根雪前			
日本芝 (こうらいしば)	疑似葉腐病 (春はげ症)	1600倍	0.2L/m ²	休眠期前			
	葉腐病 (ラージパッチ)			発病初期			
日本芝	立枯病 (ゾイシアデクライン)	4000倍	0.5L/m ²	休眠期前			
	フェアリーリング病 葉腐病 (ラージパッチ)			発病初期			

*フルオキサストロビンを含む農薬の総使用回数

【効果・薬害等の注意】

- ・使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- ・使用前に容器をよく振ってください。
- ・耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

【安全使用上の注意】

- ・本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- ・散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- ・周辺の桑葉にはかからないようにしてください (蚕毒)。
- ・公園等で使用する場合は、散布中および散布後 (少なくとも散布当日) に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器等は圃場等に放置せず、適切に処理してください。

販売元  株式会社 理研グリーン

〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F
TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 <http://www.rikengreen.co.jp>

札幌駐在 TEL.011(595)7401 FAX.011(595)7402 大阪支店 TEL.06(6871)1691 FAX.06(6871)1811
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505 福岡駐在 TEL・FAX：大阪支店にて代行受付
東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953 グリーン研究所 TEL.0538(58)1282 FAX.0538(58)1714
静岡支店 TEL.054(283)0691 FAX.054(291)4261 福田工場 TEL.0538(55)5108 FAX.0538(55)5104
名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061

理研グリーンパートナーショップ

製品規格：250ml×4本

®：アリスタ ライフサイエンス株式の登録商標です。

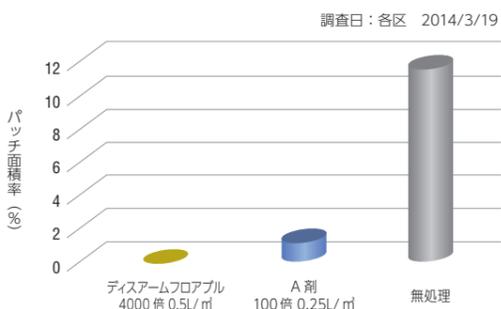
販売元  株式会社 理研グリーン

ディスアーム®フロアブルの特長

“ザイレムプロ”テクノロジー *ザイレム=植物の木部。水分や養分を茎葉部に供給するための組織である「道管」が存在する。
有効成分のひとつであるフルオキサストロビンは、* “ザイレムプロ”テクノロジー (Xylem Pro Technology) にもとづいた特徴的な側鎖及び活性基 (ファーマコフォア) を有し、ストロビルリン系化合物の中でも速い浸達性 (耐雨性)、浸透移行性、広い抗菌スペクトラムを示す優れた化合物です。



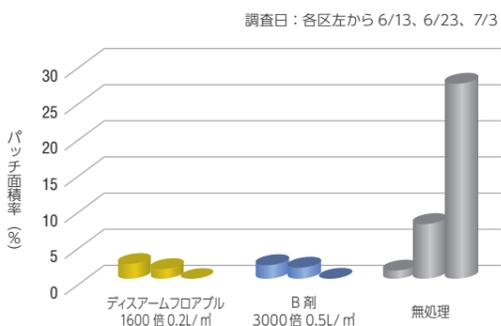
紅色雪腐病



平成 25 年度：一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：東日本グリーン研究所
試験場所：山梨県内ゴルフ場 ナーセリー
草種：ペントグラス (ペンクロス)
発生程度：中発生
散布日：2013年12月13日
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤と比較して効果が優れていた。葉害は認められなかった。



葉腐病 (ブラウンパッチ)



平成 29 年度：一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：(一財) 西日本グリーン研究所
試験場所：福岡県内ゴルフ場 圃場
草種：ペントグラス (ペンクロス)
発生程度：中発生
散布日：2017年6月13日、23日 (発生後散布)
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤とほぼ同等の効果があつた。葉害は認められなかった。



フェアリーリング病

供試薬剤名	希釈倍率 (倍)	希釈水量 (L/m ²)	区別	発病程度		
				7/2 調査 (処理前)	7/18 調査 (2回目処理前)	8/1 調査 (2回目処理14日後)
ディスアームフロアブル	1600	0.2	I区	+	±	±
			II区	±	-	-
			III区	±	±	-
B剤	2000	0.5	I区	+	±	-
			II区	+	±	±
			III区	±	-	-
無処理	-	-	I区	+	++	+
			II区	+	+	++
			III区	±	+	+

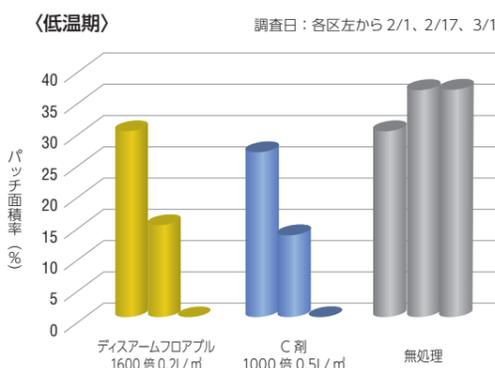
平成 30 年度：一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：(一財) 西日本グリーン研究所
試験場所：熊本県内ゴルフ場ナーセリー
草種：ペントグラス (ペンクロス)
発生程度：中発生
散布日：2018年7月2日、18日 (発生後散布)
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤とほぼ同等の効果があつた。葉害は認められなかった。



※発病程度：+++ (明瞭) ~ ++ ~ + ~ ± ~ - (なし) までの5段階で評価

- 有効成分フルオキサストロビンは QoI 剤 (呼吸阻害) です。(RAC: 11)
- 浸達性 (耐雨性) と浸透移行性が非常に高く、降雨の多い時期にも効果的です。
- 雪腐病 (紅色)、葉腐病 (ブラウンパッチ)、ピシウム病など多くの病害に対して高活性を示します。

ピシウム病



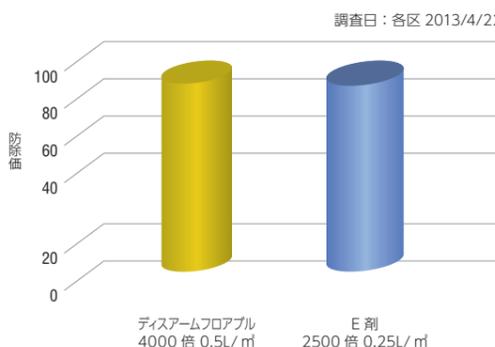
平成 29 年度：一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：(有) 緑地科学研究会
試験場所：香川県内ゴルフ場 ナーセリー
草種：ペントグラス (007)
発生程度：多発生
散布日：2017年2月1日 (発生後散布)
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤と比べて効果が優れていた。葉害は認められなかった。



平成 29 年度：一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：新中國グリーン研究所
試験場所：広島県内ゴルフ場 練習グリーン
草種：ペントグラス (007)
発生程度：中発生
散布日：2017年7月6日 (発生後散布)
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤と同等の効果があつた。葉害は認められなかった。



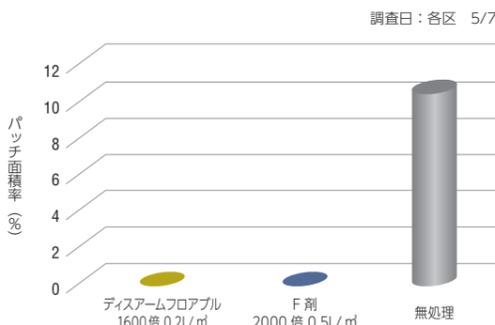
立枯病 (ゾイシアデクライン)



平成 24 年度：一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：東日本グリーン研究所
試験場所：山梨県内ゴルフ場ティーインググラウンド
草種：ノシバ
発生程度：少発生
散布日：2012年10月5日、11月8日
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤と同等の効果があつた。葉害は認められなかった。



葉腐病 (ラージパッチ)



平成 26 年度：一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：東日本グリーン研究所
試験場所：山梨県内ゴルフ場フェアウェイ
草種：こうらいしば
発生程度：中発生
散布日：2014年4月18日
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤と同等の効果があつた。葉害は認められなかった。

